

---

## 「早期の経皮的シャント拡張術に関連するリスク因子の解析」に関するお知らせ

---

このたび、当院で経皮的シャント拡張術を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2019年01月01日から2024年12月31日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、シャント造設後に透析シャント機能不全と診断され、経皮的シャント拡張術を実施した患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

経皮的シャント拡張術を行ったあと、一部の患者さんでは早期に再治療が必要となります。早期に再度経皮的シャント拡張術を必要とするリスク因子を解明することで、長期間安定した治療効果が得られる経皮的シャント拡張術を行うための手がかりを研究します。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2029年12月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2025年04月21日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である岡田浩一が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。使用する情報は年齢、性別、BMI、腎不全以外に患った病気、透析を始めてからの期間、シャント造設術を受けてからの期間、経皮的シャント拡張術前後の血管超音波検査の値、血管造影検査での血管の状況や使用した医療器材の種類、普段受けている透析の内容、内服されている薬剤、血液検査の結果になります。

#### 2. 試料・情報の取得方法

透析シャント機能不全と診断され経皮的シャント拡張術を受けた患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一（研究責任者）

### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1611（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：hirookda@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：早期の再経皮的シャント拡張術に関連するリスク因子の解析

○研究責任者：埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一